

- 腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 393, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
- 14) 出口知也, 清田義和, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 小児期にフッ化物洗口を実施した20歳成人におけるう蝕予防効果, 第54回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 420, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
  - 15) 田浦勝彦, 佐久間汐子, 八木 稔 他: 保育園・幼稚園保護者の水道水フッ化物濃度に対する意識調査 - フッ化物製剤, フッ化物洗口との比較 -, 第54回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 421, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
  - 16) 鴨田勇司, 早乙女裕彦, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 植松 宏, 泉福英信: 自立高齢者における日和見感染菌の出現と口腔診査指標との関係, 第54回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 462, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
  - 17) 金子 昇, 泉福英信, 花田信弘, 宮崎秀夫: 高齢者における唾液中抗 PAc (361-386) IgA 抗体, 第54回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 490, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
  - 18) 佐久間汐子, 伊原よし江, 小林清吾, 田浦勝彦, 八木 稔, 宮崎秀夫: 健康しもにた21「8020」推進学習会の活動評価, 第54回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌 55: 497, 2005), 東京, 2005年10月6-8日.
  - 19) 渡辺 厚, 毛利 環, 渡邊洋平, 森田修一, 齋藤功, 宮崎秀夫, 安細敏弘, 竹原直道: 矯正治療必要度(IOTN)を用いた不正咬合の疫学調査, 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 2005年11月5日.
  - 20) 白根和明: 高齢者集団の歯周健康状態の経年推移 - 5年間の追跡研究 -, 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 2005年11月5日.
  - 21) 金子 昇, 泉福英信, 花田信弘: 高齢者における唾液中抗 PAc (361-386) IgA 抗体の意義, 第79回日本細菌学会総会(細菌学雑誌, 61 (1):125, 2006), 金沢, 2006年3月29-31日.
- 3) 興地隆史, 子田晃一, 岡本 明, 福島正義(分担): 千田 明, 田上順次, 奈良陽一郎, 桃井保子監修保存修復学21三訂版. 永末書店, 京都, 2006.
  - 4) 興地隆史(分担): 脇田 稔, 山下靖雄, 明坂年隆, 前田健康編 象牙質/歯髓複合体, 5: 臨床的考察. 新編口腔組織発生学. 医歯薬出版, 東京, 印刷中.

### う蝕学分野

#### 【著書】

- 1) 興地隆史, 一戸達也(分担): 海野雅浩, 小谷順一郎, 洪井尚武, 森崎市治郎編 一から学ぶ歯科医療安全管理, 歯科での医療事故の現状. 医歯薬出版, 東京, 11-12, 2005.
  - 2) 興地隆史(分担): 海野雅浩, 小谷順一郎, 洪井尚武, 森崎市治郎編 一から学ぶ歯科医療安全管理, 安全で質の高い歯科医療. 医歯薬出版, 東京, 12-15, 2005.
  - 3) 興地隆史, 子田晃一, 岡本 明, 福島正義(分担): 千田 明, 田上順次, 奈良陽一郎, 桃井保子監修保存修復学21三訂版. 永末書店, 京都, 2006.
  - 4) 興地隆史(分担): 脇田 稔, 山下靖雄, 明坂年隆, 前田健康編 象牙質/歯髓複合体, 5: 臨床的考察. 新編口腔組織発生学. 医歯薬出版, 東京, 印刷中.
- #### 【論文】
- 1) Han L, Okamoto A, Fukushima M and Okiji T: Enamel Micro-cracks Produced around Restorations with Flowable. Dent Material J., 24(1), 83-91, 2005.
  - 2) Han L, Okamoto A, Kota K and Okiji T: Nanoleakage of various adhesive systems and dentin conditioning techniques -Comparison of Wet and Dry Techniques after Long-term Storage in Water-. Niigata Dent. J., 34(2), 21-29, 2005.
  - 3) Tate Y, Yoshiba K, Yoshiba N, Iwaku M, Okiji T, Ohshima H: Odontoblast responses to Gallium-aluminium-arsenide laser irradiation in rat molars: an experimental study using heat-shock protein-25-immunohistochemistry. Eur J Oral Sci 2006, 114, 50-57, 2006.
  - 4) Zhao, L, Kaneko, T, Okiji, T, Takagi M, Suda H: Immunoelectron microscopic analysis of CD11c-positive dendritic cells in the periapical region of the periodontal ligament of rat molars. J Endod, 2006 (in press).
  - 5) Yoshiba N, Yoshiba K, Stoetzel C, Perrin-Schmitt F, Yves Cam, Victor Ruch J, Hosoya A, Ozawa H, Hervé L: Differential regulation of TIMP-1, -2 and -3 mRNA and protein expressions during mouse incisor development. Cell Tissue Res 2006, 324(1), 97-104, 2006.
  - 6) Hosoya A, Nakamura H, Akahane S, Yoshiba K, Yoshiba N, Ninomiya T, Hoshi K, Sahara N, Kasahara E, Ozawa H.: Immunohistochemical study of osteodentin in the unerupted rat incisor. J Oral Biosci (in press).
  - 7) 興地隆史, 芳澤享子: 自家移植歯の歯内療法. 日本歯内療法学会雑誌 26 (3), 175-183, 2005.
  - 8) 興地隆史, 芳澤享子: 自家歯牙移植後の異常経過例への歯内療法的対応 - 歯髓壊死に陥った根未完成移植歯について -. 日本歯内療法学会雑誌 26 (3), 204-211, 2005.
  - 9) 韓 臨麟, 岡本 明, 福島正義, 子田晃一, 興地隆史: 各種ワンステップ接着システムの歯面処理能力. 日歯保存誌, 48 (4), 496-507, 2005.

- 10) 富田文仁, 竹中彰治, 子田晃一, 興地隆史: ニッケルチタンファイルの湾曲根管に対する切削特性 - 根管下部形成法の根管形態への影響 - . 日歯保存誌 48 (5), 743-750, 2005.
- 11) 竹中彰治, 増田貴弓, 岩本優子, 尾添裕美子, 福田 敬, 富田文仁, 村山美根子, 西川幸枝, 興地隆史, 福島正義: 口腔ケアとしてのホーム・ブリーチング - フッ化物配合歯磨剤 (ジェルコート F<sup>®</sup>) との併用による口腔内細菌数の変動と知覚過敏抑制効果 - . 日歯保存誌, 48 (5), 751-758, 2005.
- 12) 風間龍之輔, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明, 笠原悦男, 加藤一誠: 歯科用 CAD/CAM システムによるオールセラミックコーピングの適合性. 歯科審美, 18 (1), 29-35, 2005.
- 13) 楯 泰昌: 抗熱ショックタンパク質 (Heat-Shock Protein; HSP) -25 抗体を用いた免疫組織化学による半導体レーザーに対する象牙芽細胞の反応性に関する研究. 新潟歯学会雑誌, 35 (2), 239-240, 2005.
- CAD/CAM All-ceramic Crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, J Dent Res 84(Spec Issue A):abstract #547, Baltimore, 5/10, 2005.
- 3) Yoshida K, Yoshida N, Okiji T, Hosoya A, Ozawa H: Immunohistochemical Localization of Nestin during Mouse Tooth Development. Dentin/Pulp Complex Meeting 2005. Heinrich-Heine-University, Düsseldorf, Germany, 9/18-20, 2005.
- 4) Han L: Study of the fluoridated dental materials on acid resistance of tooth structures. 日中歯科医学大会, P76, 上海, 11/13, 2005.
- 5) Kazama R, Kato K, Fukushima M, Okiji T: Effect of luting agents on marginal leakage of In-Ceram Zirconia crowns. 20 Year CEREC Anniversary Symposium, Hotel Maritim, Berlin, Germany, 3/17-18, 2006.
- 6) Kazama R, Kato K, Fukushima M, Okiji T: Adaptation of YZ CUBES crown copings fabricated with CEREC in EOS scanner. 20 Year CEREC Anniversary Symposium, Hotel Maritim, Berlin, Germany, 3/17-18, 2006.
- 7) Kato K, Kazama R, Asai T, Fukushima M, Okiji T: CEREC veneers adaptation and marginal sealing. 20 Year CEREC Anniversary Symposium, Hotel Maritim, Berlin, Germany, 3/17-18, 2006.
- 8) 韓 臨麟, 岡本 明, 興地隆史: フッ素徐放性 One-step adhesive に関する研究. 第 45 回日本歯科理工学会学術講演会, 歯科材料・器械, P32, タワーホール船堀, 東京, 4/16-17, 2005.
- 9) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史, 細矢明宏, 小澤英浩: マウスの歯の発生における Nestin の発現 - 切歯と臼歯の比較 - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 165, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 10) 韓 臨麟, 庭野和明, 石川和之, 岡本 明, 子田晃一, 興地隆史: フッ素含有 One-step adhesive に関する研究 - フッ素の歯質への取り込み及び歯質耐酸性に及ぼす影響 - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 141, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 11) 福田 敬, 竹中彰治, 楯 泰昌, 子田晃一, 興地隆史, 星野悦郎: ヒト歯垢の酸素耐性 - 新しい嫌気性菌生死判定法の利用 - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 65, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.

## 【研究成果報告書】

- 1) 竹中彰治: 口腔細菌が形成した病原性バイオフィルムの効果的破壊法の提示と臨床応用. 平成 16-17 年度科学研究費補助金 若手 (B) 研究成果報告書, 課題番号 16791154, 2006 年.
- 2) 竹中彰治: う蝕治療の細菌学的アプローチ. 平成 15-17 年度 科学研究費補助金 A (1) (分担) 研究成果報告書, 課題番号 15209066, 2005 年.
- 3) 竹中彰治: 日和見感染予防のための病原性バイオフィルムの効果的破壊法の確立とオーダーメイド口腔ケアシステムの開発. 平成 17-18 年度三菱財団社会福祉事業助成, 2005.
- 4) 竹中彰治: 平成 17-18 年度ファイザーヘルスリサーチ振興財団 日本人研究者海外派遣助成金, 2005-2006.
- 5) 吉羽邦彦: 象牙質・歯髄複合体の形成・再生機構の解明と象牙質再生療法への展開. 平成 16-17 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書, 課題番号 16591910, 2006.

## 【学会】

- 1) Kazama R, Fukushima M, Takenaka S, Sakairi M, Okiji T, Kasahara E: Effect of marginal forms on marginal leakage of CEREC crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, J Dent Res 84(Spec Issue A):abstract #1762, Baltimore, 5/11, 2005.
- 2) Takenaka S, Sakairi M, Kazama R, Fukushima M, Okiji T: Inter-operator Variability of CEREC 3

- 12) 楯 泰昌, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 田辺啓太, 本多 - 楯 直子, 福田 敬, 近藤杉成, 岩久正明, 興地隆史: ラット臼歯へのレーザー照射に対する歯髄反応 - 修復象牙質形成の定量解析 - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 166, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 13) 鞍立桃子, 重谷佳見, 韓 臨麟, 岡本 明, 興地隆史: フッ化物含有低粘性コンポジットレジンの中のフッ素徐放性 - PRG フィラーを応用した製品について - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 144, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 14) 緒方 真, 風間龍之輔, 原 洋介, 継 祐介, 笠原悦男, 坂入正彦, 竹中彰治, 岡本 明, 子田晃一, 興地隆史, 岩久正明: 歯科用 CAD/CAM CEREC 3D システムにより製作されたオールセラミックインレーの適合性 - CAM マシンの個体差と Spacer セットアップが適合性に与える影響 - . 第 122 回日本歯科保存学会 2005 年度春期学会, 日本歯科保存学雑誌 48 (春季特別号), 148, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 15) 原 洋介, 風間龍之輔, 緒方 真, 継 祐介, 笠原悦男, 福島正義: 歯科用 CAD/CAM CEREC 3D システムによるオールセラミック修復の臨床経過; 日歯保存誌 48(春季特別号), 151, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 6/2-3, 2005.
- 16) 河田英司, 興地隆史, 斎藤隆史, 土屋友幸, 沼部幸博, 森尾郁子, 石井拓男, 岡野友宏: CBT・OSCE への対応についてのアンケート調査. 第 24 回日本歯科医学教育学会学術大会, 徳島, 7/7, 2005.
- 17) 藤井規孝, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 斎藤 功, 小野和宏, 林 孝文, 山村健介, 中島貴子, 山田好秋, 宮崎秀夫, 前田健康: 新潟大学歯学部教員を対象とした PBL に関するワークショップの経験. 第 24 回日本歯科医学教育学会学術大会, 徳島, 7/7, 2005.
- 18) 富田文仁, 竹中彰治, 子田晃一, 興地隆史: ニッケルチタンファイルの湾曲根管に対する切削特性 - 根管下部形成法の根管形態への影響 - . 日本歯内療法学会学術大会 (第 26 回), 日本歯内療法学会学術大会東京大会プログラム・抄録集, 59, 7/30-31, 2005.
- 19) 竹中彰治, 富田文仁, 岩本優子, 尾添裕美子, 子田晃一, 興地隆史: レジン系根管充填材の除去法に関する研究 - NiTi ローターファイルの応用 - . 日本歯内療法学会学術大会 (第 26 回), 日本歯内療法学会学術大会東京大会プログラム・抄録集, 60, 7/30-31, 2005.
- 20) 竹中彰治, 富田文仁, 岩本優子, 尾添裕美子, 子田晃一, 興地隆史: レジン系根管充填材の封鎖性および接着性に関する研究 - 固形根管充填材料・シーラー界面に対する検討 - . 日本歯内療法学会学術大会 (第 26 回), 日本歯内療法学会学術大会東京大会プログラム・抄録集, 61, 7/30-31, 2005.
- 21) 細矢明宏, 中村浩彰, 田中容子, 二宮 禎, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 笠原悦男, 小澤英浩: ラット臼歯発生過程における -SMA の局在. 第 47 回歯科基礎医学学会学術大会, 仙台国際センター, 仙台, 9/29-30, 2005.
- 22) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史, 細矢明宏, 小澤英浩: 歯の発生過程における Nestin の発現に関する免疫組織化学的研究. 第 47 回歯科基礎医学学会学術大会, 仙台国際センター, 仙台, 9/29-30, 2005.
- 23) 坂入正彦, 竹中彰治, 福島正義, 興地隆史, 風間龍之輔, 原 洋介, 緒方 真, 笠原悦男, 加藤一誠: 歯科用 CAD/CAM CEREC 3 システムにおけるミリングバーの消耗が修復物の適合性に与える影響. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集, 69, 大阪国際会議場 グランキューブ大阪, 大阪, 10/8-9, 2005.
- 24) 緒方 真, 風間龍之輔, 加藤一誠, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 原 洋介, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: フロアブルレジンコーティングされた窩洞に対する CEREC 3 インレー修復物の適合性評価. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集, 70, 大阪国際会議場 グランキューブ大阪, 大阪, 10/8-9, 2005.
- 25) 風間龍之輔, 加藤一誠, 緒方 真, 原 洋介, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: CEREC in Lab システムにより製作された Y-TZP クラウンコーピングの適合性. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集, 71, 大阪国際会議場 グランキューブ大阪, 大阪, 10/8-9, 2005.
- 26) 原 洋介, 風間龍之輔, 加藤一誠, 緒方 真, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: CEREC in EOS Scanner による光学印象より製作されたセラミックインレーの適合性. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集, 72, 大阪国際会議場 グランキューブ大阪, 大阪, 10/8-9, 2005.
- 27) 韓 臨麟, 岡本 明, 子田晃一, 興地隆史: 仮封材の封鎖性に対する根管貼薬剤の影響について. 第

- 123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 133, 東京国際フォーラム, 東京, 11/23-25, 2005.
- 28) 福田 敬, 竹中彰治, 鞍立桃子, 飯塚直之, 斎藤 健, 土田しのぶ, 松井香苗, 子田晃一, 興地隆史, 星野悦郎: 口腔細菌叢内での細菌の生死. 第123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 29, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 29) 飯塚直之, 竹中彰治, 重谷佳見, 尾添裕美子, 富田文仁, 子田晃一, 興地隆史: NiTi ローターファイルを用いたレジン系根管充填材の除去法. 第123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 18, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 30) 重谷佳見, 竹中彰治, 飯塚直之, 岩本優子, 子田晃一, 坂本 信, 興地隆史: レジン系根管充填材の封鎖性および接着性 - 固形根管充填材・シーラー界面に対する検討 -. 第123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 113, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 31) 岡本 明, 重谷佳見, 庭野和明, 韓 臨麟, 坂本信, 興地隆史: 各種ワンステップ接着システムの引張り強さと辺縁封鎖性に関する検討. 第123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 178, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 32) 細矢明宏, 中村浩彰, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 山田博仁, 笠原悦男, 小澤英浩: 歯周組織発生過程における - 平滑筋アクチンの局在. 第123回日本歯科保存学会 2005年度秋期学会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 59, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 33) 風間龍之輔, 福島正義, 緒方 真, 原 洋介, 笠原悦男, 浅井哲也, 河瀬雄治, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史: 歯科用 CAD/CAM Smart Fit により製作されたアルミナコーピングの適合性. 第123回日本歯科保存学会 2005年秋期大会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 159, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.
- 34) 浅井哲也, 河瀬雄治, 風間龍之輔, 緒方 真, 原洋介, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 福島正義: 歯科用 CAD/CAM CEREC3 により製作されたラミネートベニア修復物の適合性. 第123回日本歯科保存学会 2005年秋期大会, 日本歯科保存学雑誌 48(秋季特別号), 161, 東京国際フォーラム, 東京, 11/24-25, 2005.

## 【講習会】

- 1) 興地隆史: 医療安全管理 - 安全に配慮した卒後研修を行うために -. 平成17年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 5/17, 2005.
- 2) 興地隆史: 医療安全管理 - 歯科医師臨床研修施設に求められるもの -. 第2回新潟県歯科医師会歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, 新潟県歯科医師会館, 新潟, 7/17, 2005.
- 3) 興地隆史: 歯内療法の臨床エッセンス - 基礎から最先端まで -. 平成17年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 8/31, 2005.
- 4) 興地隆史: 学習方略. 新潟大学歯学部 SD 講習会. 新潟大学歯学部講堂, 新潟, 2/7, 2006.

## 【講演会・シンポジウム】

- 1) Han L: Study of the fluoridated One-step adhesive -Fluoride uptake and acid resistance of tooth structures-. ハルビン医科大学講演, 4/28, 2005.
- 2) 興地隆史: 歯内療法の最新システム - NiTi ローターファイルを用いた根管形成から3D根管充填まで -. カタギリ エンドセミナー, 新潟, 5/29, 2005.
- 3) 興地隆史: 歯内療法の予後 - オーバービュー -. 第26回日本歯内療法学会シンポジウム「予後を考える」, 日本歯科大学歯学部富士見ホール, 東京, 7/31, 2005.
- 4) 興地隆史: マイクロエンドドンティックス 講演会 Microscopic Dentistry - 顕微鏡歯科の世界 -. 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 8/28, 2005.
- 5) 興地隆史: 歯内療法の難症例とその対策. 新潟大学歯学部同窓会群馬県支部夏期研修会, 伊香保, 9/3, 2005.
- 6) 興地隆史: 予知性と効率性を高めた最新の歯内療法. 新潟市歯科医師会歯科治療研修会, 新潟大学歯学部講義室, 新潟, 10/13, 2005.
- 7) 興地隆史: 歯髄・根尖性歯周組織疾患と免疫学. 東京医科歯科大学歯学部特別講義, 東京医科歯科大学歯学部, 東京, 11/18, 2005.

## 【その他・商業誌等】

- 1) 興地隆史: 根尖歯周組織の生体防御機構 - 歯内療法の生物学的基盤を求めて -. The Quintessence 24 (9), 53-61, 2005.
- 2) 吉羽邦彦: 象牙質 / 歯髄複合体の生体防御機構 う蝕, 窩洞形成, 修復処置に対する歯髄内樹状細胞の応答. The Quintessence 24 (8), 1613-1619, 2005.
- 3) 重谷佳見, 岡本 明, 楯 泰昌, 子田晃一, 岩久正明, 興地隆史: Er:YAG レーザーによる窩洞形成 - コン

ポジットレジン修復への応用のための基礎的検討 - ,  
歯界展望, 特別号, 278, 2005.

- 4) 尾添裕美子, 竹中彰治, 岩本優子, 興地隆史, 福島正義: 新・臨床に役立つすぐれモノ / 松風ハイライト シェードアップ. デンタルダイヤモンド, 30 (431), 136-139, 2005.

#### 歯周診断・再生学分野

##### 【論文】

- 1) Takauchi A, Kobayashi T, Tahara T, Nakazawa K, Hayakawa M, Shibata Y, Ishida I, Abiko Y, Yoshie H: The trans-chromosomal mouse-derived human monoclonal antibody promotes phagocytosis of *Porphyromonas gingivalis* by neutrophils. J. Periodontol, 76(5): 18-23, 2005.
- 2) Yoshie H, Galicia JC, Kobayashi T, Tai H: Genetic polymorphisms and periodontitis. International Congress Series, 1284: 131-139, 2005.
- 3) Ito H, Honda T, Domon H, Oda T, Okui T, Amanuma R, Nakajima T, Yamazaki K: Gene expression analysis of the CD4 T-cell clones derived from gingival tissues of periodontitis patients. Oral Microbiol Immunol, 20(6): 382-386, 2005.
- 4) Nakajima T, Ueki-Maruyama K, Oda T, Ohsawa Y, Ito H, Seymour GJ, Yamazaki K: Regulatory T-cells infiltrate Periodontal Disease Tissues. J Dent Res, 84(7): 639-643, 2005.
- 5) Murata M, Momose M, Okuda K, Ninagawa Y, Ueda M, Yoshie H: Immunohistochemical localization of cytokeratin 19, involucrin and proliferating cell nuclear antigen (PCNA) in cultured human gingivalepithelial sheets. J the International Academy of Periodontology, 7 (4): 129-134, 2005.
- 6) Kawase T, Okuda K, Burns DM: Immature osteoblastic MG63 cells possess two calcitonin gene-related peptide receptor subtypes that differentially respond to [Cys(Acm)<sup>2,7</sup>]-CGRP and CGRP<sub>8-37</sub>. Am J Physiol Cell Physiol, 289: C811-C818, 2005.
- 7) Kawase T, Okuda K, Saito Y, Amizuka N, Suzuki H, Yoshie H: Platelet-rich plasma (PRP) provides nucleus for mineralization in cultures of partially differentiated periodontal ligament cells. In Vitro Cell. Dev. Biol. - Animal, 41: 171-176, 2005.
- 8) Okuda K, Tai H, Tanabe K, Suzuki H, Sato T, Saito, Wolff LF, Yoshie H: Platelet-rich plasma combined with a porous hydroxyapatite graft for the treatment of intrabony periodontal defects in humans: a comparative controlled clinical study. J Periodontol, 76(6): 890-898, 2005.
- 9) Kawase T, Okuda K, Saito Y, Yoshie H: In vitro evidence that the biological effects of platelet-rich plasma on periodontal ligament cells is not mediated solely by constituent transforming-growth factor- or platelet-derived growth factor. J Periodontol, 76(5): 760-767, 2005.
- 10) Ogino M, Kido J, Bando M, Hayashi N, Wada C, Nagata T, Nishimura F, Soga Y, Takashiba S, Kubota T, Itagaki M, Shimada Y, Tai H, Yoshie H, Yamazaki N, Shinohara Y, Kataoka M: {alpha}2 Integrin +807 Polymorphism in Drug-induced Gingival Overgrowth. J Dent Res, 84(12): 1183-6, 2005.
- 11) Ikezawa I, Tai H, Shimada Y, Komatsu Y, Galicia JC, Yoshie H: Imbalance between soluble tumour necrosis factor receptors type 1 and 2 in chronic periodontitis. J Clin Periodontol, 32(10): 1047-54, 2005.
- 12) Honda T, Oda T, Yoshie H, Yamazaki K: Effects of *Porphyromonas gingivalis* antigens and proinflammatory cytokines on human coronary artery endothelial cells. Oral Microbiol Immunol, 20(2): 82-8, 2005.
- 13) Suzuki H, Amizuka N, Oda K, Li M, Yoshie H, Ohshima H, Noda M, and Maeda T: Histological evidence of the altered distribution of osteocytes and bone matrix synthesis in klotho-deficient mice. Arch Histol Cytol, 68: 371-381, 2005.
- 14) Murata M, Momose M, Okuda K, Ninagawa Y, Ueda M, Yoshie H: Immunohistochemical localization of cytokeratin 19, involucrin and proliferating cell nuclear antigen (PCNA) in cultured human gingivalepithelial sheets. J the International Academy of Periodontology, 8 (1): 33-38, 2006.
- 15) Kobayashi T, Kaneko S, Tahara T, Hayakawa M, Abiko Y, Yoshie H: Antibody responses to *Porphyromonas gingivalis* hemagglutinin A and outer membrane protein in chronic periodontitis. J. Periodontol, 77(3): 364-369, 2006.
- 16) Zhang J, Raper A, Sugita N, Hingorani R, Salio M, Palmowski MJ, Cerundolo V, Crocker PR: Characterisation of Siglec-H as a novel endocytic receptor expressed on murine plasmacytoid.